

令和6年4月定例教育委員会会議録

令和6年塩尻市教育委員会3月定例教育委員会が、令和6年4月25日、午後1時30分、塩尻総合文化センター2階大会議室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 5月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について
報告第4号 塩尻市人権同和教育集会所運営委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について
報告第5号 塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
報告第6号 学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
報告第7号 令和6年度長野県公立高等学校入学者選抜の結果<非公開>
報告第8号 令和5年度中学校卒業生進路状況について<非公開>
報告第9号 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について<非公開>

4 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	徳 武 あ ゆ 子	委員	甕 剛
委員	八 島 思 保		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	百 瀬 一 典	交流文化部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (こども未来課長)	竹 中 康 成	交流文化部次長(社会教育スポーツ課長)	上 條 史 生
学校教育課長	上 條 崇	平出博物館長	小 松 学
教育施設課長	五 味 克 敏	市民交流センター長(図書館長)	矢 澤 昭 義
保育課長	塩 原 清 彦	文化財課長	古 畑 比 出 夫
主任学校教育指導員	村 上 啓	学校教育課児童生徒支援係長	小 松 義 宏

○ 事務局出席者

教育企画係長 佐藤 智 樹

1 開会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。今日、久しぶりに晴れ渡りまして、私、午前中、塩尻西小学校で会議がありました。ここから歩いて往復したのですけれども、とてもすがすがしい気持ちになりました。周りを見渡しますと、イチイ、ドウダンツツジ、桜、ハナミズキ、あとシャラノキ、レッドロビンなど、この暖かさを感じた樹木の若葉が目まぶしく映る季節となったなということを感じました。

ただいまから令和6年4月第1回定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、新年度最初の定例教育委員会になりますので、人事異動により、この4月から教育委員会に来られた方は自己紹介をお願いしたいと思います。では部長から、その場をお願いいたします。

百瀬こども教育部長 お疲れさまです。この4月になりますけれども、こども教育部長として来ました百瀬一典と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

上條学校教育課長 こんにちは。この4月に学校教育課長として来ました上條崇です。よろしくお願いいたします。

塩原保育課長 こんにちは。保育課長の塩原清彦と申します。よろしくお願いいたします。

古畑文化財課長 お疲れさまです。文化財課長を拝命しました古畑比出雄です。よろしくお願いいたします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） こんにちは。この4月より市民交流センター長兼図書館長になりました矢澤昭義と申します。よろしくお願いいたします。

赤羽教育長 あと、配置換えになった職員もいますので、やっていたいていいですか。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） このたび、こども教育部次長兼こども未来課長となりました竹中康成です。前はこども課長でありました。よろしくお願いいたします。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 交流文化部次長兼社会教育スポーツ課長兼中央公民館副館長の上條史生です。よろしくお願いいたします。

五味教育施設課長 こんにちは。昨年度は、教育総務課の担当課長をやっておりました。4月からは教育施設課長になりました五味克敏と申します。よろしくお願いいたします。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは皆さん、よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

赤羽教育長 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

佐藤教育企画係長 前回、3月定例教育委員会会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 それでは3番、教育長報告に入ります。私からは3点報告させていただきます。

1点目です。4月3日、市内保育園、そして4日は小中学校、義務教育学校で、桜のつぼみが膨らみ始めた頃、入園式、1学期の始業式、入学式が執り行われました。私は檜川小中、丘中の入学式に、そして各教育委員、教育委員会事務局職員も市内各校に分かれ、列席しました。

檜川小中学校では、今年度より小規模特認校制度がスタートしました。新1年生は3名でした。しかし、とてもにぎやかな入学式となりました。丘中学校は、2、3年生は列席せず、校歌は卒業していった3年生の心のこもった合唱が流れました。どうやって対面するのかと思ったのですが、翌日、在校生との対面式があって、新入生と2、3年生がしっかり対面すると校長から報告を受けました。

塩尻市では、小学校に513名、中学校に491名が希望を胸に学びの門をくぐりました。また、今年こそは去年の反省を生かして何とかこういうのを頑張りたい、もっとやりたいと令和6年度への切替えを待っていた児童生徒がたくさんいたはずだと思います。その決意の姿を見逃さずに、全教職員が一丸となって様々な立場から子どもたちと向かい合っていたきたいと、毎年のことですが強く願っております。

声に出せる子だけでなく、声に出せない子、どうもいつも一人ぼっちだなという子、担任の先生を囲む輪が一重、二重、三重とあるのですが、その一番外にいる子たち、あと日記で相談する子など、様々なタイプの子どもたちがいると思います。それが集ってクラスになるわけですが、それが学級だと思えます。4月4日、昨年欠席が多かった子が、始業式、入学式が行われた初日に登校できたと、本人の決意が伝わってくるニュースが私にも届きました。教育委員の皆さん、入学式の様子があったら、また後で報告をお願いいたします。

2点目です。私たちの暮らしの質と幸福感を向上させるまちづくりの指針として、令和6年度から14年度までの期間で「しおじり未来投資戦略」がスタートしました。広報塩尻4月号で1,191号ですが、令和6年度の塩尻市の予算、主な事業、組織再編について1ページから11ページまで特集が組まれました。

そして本日ですけれども、この戦略の冊子が出来上がって私のところに届きました。概要版と冊子であります。この中で、しおじり未来投資戦略、第六次塩尻市総合計画は、本市の未来のありたい姿を示して、これを達成するための政策をまとめたものになっています。これから9年間、しおじり未来投資戦略に沿って市政が運営されていきます。この中で目指す都市像として、「多彩な暮らし、叶えるまち。田園都市しおじり」、この都市像には、お互いや地域を支え、課題の解決に挑戦したい市内外の人々がつながり、応援されることで新たな価値を生んで、それぞれの暮らしの質と幸福感の向上を表現するという思いが込められております。

この中の基本戦略A、未来共育、次世代とともに学び成長し、ワクワクして暮らす。戦略分野2の学校教育・学びの環境の未来のありたい姿を子どもたちがワクワクする学びを自ら発見できるとともに、友達や関わる人たちと共感でき、塩尻に帰ってきたいと思う体験ができていますとしております。この「塩尻に帰ってきたい」は、未来に羽ばたく子どもたちの育成を目指していく中で、一人一人の心のよりどころとなる、生まれ育ったこの塩尻の地がとても大切なふるさとであるということが私は大事なのかなということを考えています。

またもう1つですが、第二次塩尻市教育振興基本計画、これも概要版と冊子ができており

ます。この紹介もさせていただきたいのですが、令和4年9月26日、第1回の塩尻市教育振興審議会、そこから始まり、委員委嘱、諮問、今後のアンケート調査など計画案が説明されました。その後、保護者アンケートを実施して、結果報告、考察、市の教育を取り巻く現状と課題、本市の強み、また課題、今後の方向性などについて何度も話し合われてきました。市プロジェクト会議とか庁議とか市民向けパブリックコメントも行って意見募集をしました。また、市議会全員協議会、教育委員会協議会を経て教育振興計画案が絞り込まれて、令和6年3月に答申を受け、定例教育委員会にて採決されました。

審議会メンバーですけれども、資料の53ページに記載されております。それぞれ専門的なお立場の方が委嘱されまして、意見交換を重ねてまいりました。八島教育委員もこのメンバーの一人であります。教育委員会と学校現場との信頼関係を築きながら、子どもたちを真ん中に豊かな教育実践を一步一步進めていきたいと考えております。

この計画案の中の教育理念であります「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」のもと、育てたい人間像を「社会を生き抜く力を備えたひと」、「郷土を知り、誇りと愛着をもったひと」を目指します。7つの基本目標を設定し、15施策を推進してまいりたいと思います。市の校長会においても、私や担当職員から説明をいたしました。

3点目です。私は4月10日に改修工事が行われた塩尻児童館を見学してきました。振り返りますと、令和3年の11月、日の出保育園、塩尻児童館及びスポーツ公園の一体的な整備が議員全員協議会にて協議されました。日の出保育園2階の全面を塩尻児童館の用途に変更すること、日の出保育園西側の中央スポーツ公園東テニスコートの敷地に新たに同園増築棟を建設すること、増築棟内に病後児保育所を併設すること及びテニスコートを同公園西テニスコート、人工芝コートの南側に移転、さらに日の出保育園、塩尻児童館の園児一同の送迎用の駐車場スペース96台分を設置するというプロジェクトがスタートしました。

テニスコートができて、保育所ができて、駐車場ができて、ゼロ、1、2歳の保育室の備品が片づけられたその後、塩尻児童館改修工事が行われ、この3月に完成となりました。児童館は春休みと夏休みが一番忙しいところでございます。

山内児童館長からは、児童館の面積が1.7倍に拡張され、部屋の使い方に応じて子どもたちが今日やりたい活動が可能となった。教室間の壁に3つの大窓が設けられ、職員と子どもたちがお互いの様子を確認できることで安心感につながった。受入れ人数も多く、今まで廊下も作業所として活用されてきました。体調が悪くなった児童が廊下で休養している姿を私は見たことがあります。大きくなった事務室には、職員が教材研究をできる大きなスペースができ、体調を崩した子どもが休める簡易ベッドも準備されておりました。そして遊戯室にエアコン、LED照明、そして遊戯室が2階にあるので、そこに網戸があったのですが、普通のナイロンの網戸ではなくて、鉄製で落ちない、かなり強力な金属製の網戸に変更され、落下防止をしたと館長から説明がありました。お伺いしたところ、館長や厚生委員から感謝しかありませんとお礼の言葉を頂きました。

ちょうど私が訪問した時間帯は1年生が児童館に来ていて、読書している子たちと、あとビデオ鑑賞する子どもたちと、うまく2つに分かれて落ち着いた雰囲気でも過ごしているなということを感じました。何よりも大事なことは、環境もそうでありましてけれども、小学校と児童館がより連携を密にして、子どもたちの健やかな成長を支えてほしいということを昨日の校長会で私からもお願いいたしました。

私からの報告は以上であります。それでは、各委員から御質問、御意見等ありましたら発言をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

碓井教育長職務代理人 お願いいたします。教育長から冒頭お話がありましたように、市内小中学校、保育園の入学式、入園式が無事終わったということで、新入児童生徒や保護者の皆様に心からお祝いを申し上げたいと思っております。

私は、桔梗小学校と広陵中学校の入学式に参加させていただきました。桔梗小は新入児童が127名ということで、6年生と保護者の方が参加した入学式でありました。新1年生は、おめでとうございますという呼びかけに、ありがとうございますときちんと答えられ、落ち着いた様子の入学式でありました。式の中で特に印象に残ったことは、保護者の皆様方の多さです。多分御両親で来られている方が多いのでしょうか。大勢いらっしゃることは良いことだと思いますが、その姿がとても印象に残りました。

広陵中のほうは151名の入学生で、こちらでも厳粛な中にも温かさが感じられる入学式でありました。来賓でお見えになった市長から、強い心を持ち、優しい思いやりのある人に育てほしい等の励ましの言葉もありました。制服について、前回の定例教委で、甕委員からお話がありましたけれども、広陵中は新入生から制服のデザインが変わっていました。今風のものといえますか、ブラッシュアップされたものといえますか、変更された制服から私はそんなふうな感じを持ったわけですけれども、特に開校以来、広陵中も三十数年を経ておりますので、変化していく新たな時代に向けての意気込みというようなものを着用している生徒の皆さんの姿から感じ取らせていただきました。

今春、小中学校に入学された児童生徒の皆さんには、それぞれの希望や願いを学校生活の中で実現して欲しいと思っているわけですが、まずは安心安全な環境で学べるのが一番だと思います。登下校の安全については、地域の方も見守りをさせていただいて、大変ありがたいと思っているわけですけれども、十分注意してもらいたいと思います。その中でも交通事故については、幼児や小学生の大きな事故の原因は飛び出しが一番多いということです。特に小学校の新1年生の皆さんは生活環境が大きく変化しているということもありますので、気をつけてほしいと思います。また、線路を渡って通学するお子さんについては、踏切の渡り方も含めて、これも十分注意していただきたいと願っております。

赤羽教育長 ありがとうございます。続けてお願いいたします。

徳武委員 では、私も入学式の話をお願いします。私は宗賀小学校と西部中学校の二校に参加させていただきました。両校とも規模は大きくないものですから、1年生から6年生まで、中学生も1年生から3年生まで、あと保護者も入れて、久しぶりに大人数だなと感じました。そんな中でも、子どもだけでなく先生からもとても緊張感が伝わってきて、多分新任の先生だと思えるのですが、返事をされるときにすごく大きな声で返事をされていたりして、とても良い緊張感の中で入学式が行われているなというのを感じました。

校長先生の式辞が私はとても印象的だったのですけれども、中学生というどうしても心配なこととか、勉強がどうだとかということがあるので、校長先生は失敗は人を成長させるという例を挙げ、そういう失敗を恐れずに、それを学びのチャンスと捉えてこれからもどんどん成長して仲間と頑張りたいというお話をされました。わかりやすい式辞でとてもよい入学式だったと思います。

今も交通安全のお話が出たものですから、関係してなのですが、この間、中学3年生が卒

業して高校生になって自転車通学をしている姿をたまたま見かけたのですが、すごく残念だったのが、ヘルメットを取っていたのです。中学校までは必ずかぶっていたのに、高校生になったら、進学のうれしさももちろんあるのでしょうけれど、ヘルメットを取ってしまっていたのがとっても残念だと思っていて、高校生になるとどうしてもヘルメット着用が、あくまでも義務なので個人の自由ということなのですけれども、何かこちらのほうからうまく働きかけて、中学校までせつかくヘルメットを頑張ってかぶってきたので、高校生になってもかぶってくださいという様な呼びかけというのはどこかでできないものかなというのを感じています。

赤羽教育長 ありがとうございます。後で質問ということで。

徳武委員 教育委員会から高校のほうに呼びかけていただけないかというところはあるのですけれども。

赤羽教育長 先にお話をさせていただいて。

八島委員 私は、吉田小学校の入学式に参加させていただきました。72名の新1年生を迎えて、少し緊張した様子で入場されていました。元気ある挨拶や歌声は素直でとてもきらきらしているなと感じました。2クラス編成で、1クラスが36名でした。クラス内では児童と保護者で少々圧迫感があり、少し異様な雰囲気ではありました。36名を担当1人で対応していくということには御苦労もあると思います。行事事などは、ボランティア等と協力しながら安全に学習が進められることを願います。

また、吉田小学校では、教諭の男女比は圧倒的に女性が多いなと感じました。低学年では女性教諭のほうが親しみやすく、きめ細やかな対応が可能であると考えられますが、社会的な課題がある中で、子どもたちの多様な生活様式への対応には、男女比率に大幅に差が生まれないような配置が理想であると感じました。

赤羽教育長 ありがとうございます。

壺委員 私は、西小学校と塩尻中学校の入学式に参加させてもらいました。皆さんと同様、国歌とか校歌を久しぶりに聞いたなという感じで、大変すばらしい式だったと思います。先ほど八島委員がおっしゃった先生の割合は、小学校だと女性のほうが多いのかな。塩尻中の場合、新しい1年生は3クラスあるのですけれど、皆男性の若い先生で、大変活気のある授業がこれからできるのではないかなと期待はしております。

その中でも来賓対応についてなのですが、西小学校とか塩尻中学校は来賓を呼んでいたもので、来賓という言い方は少しおかしいのですけれど、地域の方ですとか、学運協の方を呼んで、直接体育館に行ってくださいと、接待はしないような形で式を一緒にやる。終わったら速やかに帰っていただくというスタンスを取っていたのですけれども、その方法が大変いいなと思いました。

ただ、呼んでいない学校も市内にはあったようで、これから検討していただきたいと思うのは、やはり地域の方を呼んで入学式や卒業式はやるべきではないかと。対応は、直接体育館のほうに行ってください、そのまま帰っていただく。本当に地域の方たちの力があってコミュニティ・スクールは活力あるものになっていくと思っていますので、ぜひ入学式、卒業式は統一して呼んでいただくという方向でやっていただきたいと思っています。

先ほど徳武委員がおっしゃった交通安全に関してなのですが、私も言いたかったこ

とがあつて、4月4日に入学式があり、6日から15日まで交通安全週間が1週間あつたのですが、大門地区においては、皆さん御存じのように交通安全協会から抜けていましたので、この期間中、通常のボランティアの方は立っているのですが、圧倒的に数が少なかったのです。ですので、地域のお母さんが、1年生が心配だからといって協力して立ってくださいました。

今後、例えば玄蕃まつりやハロウィーンや安全教室等を行っていくときに、安協の方がいないという状況はあまりよくないと思うのですが、教育委員会のほうとしては、どんな連携を取っていくのかなという部分が1つあります。

それから先ほどの自転車のヘルメットの関係なのですが、塩尻市にはヘルメットの購入補助があると思うのですが、これが、見てみると16歳から18歳まで、または65歳以上の者とするという縛りがあるのですが、16歳から18歳というのは、徳武委員が仰っていた主に高校生ですよね。だけど、小学校から中学、高校と、補助は広めて出すべきではないかという部分が希望としてはあります。私も見守りで立っていると思うのですが、高校生は圧倒的にかぶっていないです。ですので、これはぜひ連携して、教育委員会のほうから、特に市内の各学校にはぜひ声をかけていただくことと、補助制度があるということをきちんとお伝えしていくべきではないかと思っています。

赤羽教育長 今御質問にあつたことで答えられるところがありましたら、事務局のほうでお願いしたいと思います。

上條学校教育課長 それでは、先ほどのヘルメットの関係ですが、新聞でもたしか、塩尻市内の高校生に昨年から補助金等を始めましたが、大分低調だという話も出ていたかと思えます。委員おっしゃるとおり、高校生になったから被るのをやらないのは、髪形を多分気にするとか、いろいろあるかと思いますが、やはり安全第一であると思っておりますので、その辺は、例えば補助金交付の都市計画課とも連携して、周知等は徹底していきたいと考えております。また、市内の高校にも何かしらPR等させていただく機会があれば、導入促進に向けた対応を取ってまいりたいと考えております。

あと、先ほどの交通安全を含めた大門の安協の関係ですが、私どもも急に出てきた話でありますので、今現在、対応というものは特段やっておりますが、必要に応じてどのような安全対策がとれるかとか大門地区と協力が何ができるのかとか、何かしらの関係で相談等する機会があつてもいいのかなと考えております。

赤羽教育長 その件でどうでしょうか。

徳武委員 ありがとうございます。高校生が身なりを気にするのはすごく分かるのですが、せっかくずっと中学校まで守られてきた自分の安全なので、ぜひヘルメットを継続してかぶってもらいたいと思って、外からお声かけすることによって意識が変わるかなと思うので、ぜひお願いしたいと思います。

齋委員 私のほうは、ちなみに野球部で丸刈りなので、髪形とかあまり気にしないと思うのですが、結構飛ばしていくので心配だなという部分があります。

安協に関しては、突然、3月の終わりでしたか、退会するということですが、交通安全週間は4月の頭にあると分かっていると思うのです。その辺の意識が低いなという感じがします。

1年生たちは黄色い帽子とランドセルについているカバーが目立つので、すごくいいなと

思います。でも入学してすぐなので、登下校の交通安全を意識して、今後、安協に代わる団体がもしできたとすれば、ぜひ協力をしていていただきたいと思います。

赤羽教育長 入学式とか卒業式の来賓については御意見として承って、今後に生かしていきたいと思いますので、よろしいでしょうか。

そのほか、委員の皆様からありましたらお願いいたします。

碓井教育長職務代理者 それでは、2点お願いいたします。

1点目は、檜川小中学校小規模特任校についてですけれども、新聞には、今春7人が他学区から檜川小中へ転入したと記載がありました。檜川小中学校のある保護者の方からも、自分のお子さんのクラスに3人の転入生があって、子どもが大変喜んでいて、そんなお話もお聞きしました。私は、このように多くのお子さんが檜川小中学校に転入されたことは、小規模特認校のスタートとしてはいいことだと思います。転入されたお子さんにも有意義な学びをしていただくことを願っています。

事務局としては、この状況についてどう受け止めて、今後どのようにしていこうというお考えなのか、課題のような点も含めてお聞きできればと思います。それが1点目です。

それから2点目は、市の教育センターから先月頂いた冊子に関係してなのですけれども、3月の協議会のときに、ワクワクする主体的な学びに向けた学校づくりというタイトルで400ページを超える大変厚い冊子を頂きました。冊子には、市内各校の教育課程とその評価、学力向上に向けた取組等が載っていました。

その中で私は、授業公開週間を校内で実施して、互いに授業を見合って授業力をアップする取組だとか、最近聞かれるようになった個別最適な学びに挑戦する授業実践、また、校長先生が自ら授業実践にどう関わったのか、その具体の記述の部分等に目を引かれました。こういった様々な地道な取組を各校の先生方が日々行って、子どもたちの育ちを支えてくださっているのだと頭が下がる思いで読ませていただきました。

ただ、最近是不登校のお子さんの増加や学力の二極化等が見られる傾向もあって、そのようなお子さん方への指導支援の方向はどうか、このようなことも含めて少し心配になる点があります。4月当初に頂いた教育センターの要覧には、居場所がある学校づくりとか授業づくりが本年度の重点ということになっていましたけれども、そんな点について少し具体的な内容を教えていただければと思います。以上2点ですけれども、お願いいたします。

赤羽教育長 それではお願いします。

上條学校教育課長 最初に檜川小中学校の関係になります。委員おっしゃるとおり、今年につきましては、小学校2年生から中学2年生まで計7名が転入されてきたという状況になっております。学校側の受け止めとしましては、初年度としては、ある程度希望に沿った人数を受け入れているという形です。ただ、募集期間等が昨年度は少し後半になっていたものですから、もう少し早めの周知が必要ではないかということで、今年度は半年ぐらい前から募集をかけていきたいと、このようなお話も伺っております。

あと、学校から周知について、市内の例えば保育園の園長向けに、学校の趣旨であったり理念等を説明する場を設けてほしいというお話がありますので、極力そういう場を設けて、小規模特認校のいいところをPRしていきたいと考えております。

あと、課題になりますが、やはり希望が多くなってくると、例えば交通といいますか、お子さんたちの送迎の問題が一つあるかと。今現在、受入れのほうでは基本的には家庭で送迎

をしてくださいという話になっていますけれども、やはり親の就業の環境も含めて、そういう可能性がかなわないという場合の子も出てくる可能性がありますので、その辺についてまた検討が必要かと考えております。

あと、来られるお子さんの状態等も一部あるかと思えます。例えば支援が必要なお子さん等が多くなればなるほど、やはりそういった職員の配置等も必要になってきますので、そういったところは今後の課題であろうかと考えております。

続きまして、教育センターの取組と不登校の関係になります。今年度から、幾つか教育センターを充実させる中で不登校対策を行っていく形にしております。1つは、例年どおりになりますけれども、子と親の心の相談員等も充実させておりますし、あと、学校に来られないお子さんが民間の学ぶ場所等で居場所づくりができないかということ。

今年度から、長野県で信州型のフリースクールの認証制度を設けるという形になっております。こちらについては、例えば塾やNPOが運営する施設等に対し、そういったところを県が認証をして、不登校児を中心に学びの場を確保、提供する取組も考えております。それにつきましては、塩尻市では、通うお子さんに対しての授業料の一部支援等も考えております。

同じように、塩尻市内でも既存の塾が受け入れ、信州型とはまた別になりますけれども、平日1日2時間くらいとか、そのような形で受け入れていただく実証事業を今年度行っていく予定にしております。そのような中で、学校に来られないお子さんに対しても、周辺ないし市内で学びの場の提供というものは非常に重要かと考えておりますので、このような場づくりを行ってまいりたいと考えております。

あと、その前段になりますけれども、不登校になる前、予防的なものを含めて、昨年から一部学校で実証をしておりますが、相談アプリがあります。こちらについてはこの6月以降になりますけれども、本格的に全校でスタートさせていきたいと思っております。そこで児童生徒の悩み事ですとか、そういったものをいち早く教育委員会のほうで察知して、対策を講ずる。極力不登校になる手前で予防的に対応してまいりたいと考えております。

村上主任学校教育指導員 教育センターの村上です。私も、手元に持ってまいりましたが、こちらのパンフレットを取り上げていただきありがとうございます。

今年度、パンフレットのほうでも書かせていただきましたが、教育センターとして、今年度、重点として、どの子にも居場所のある学校づくり、どの子も関わり合いながら、自らの希望に向かって学び続けることができる学校・学級づくりを共に進めてまいります。2つ目として、主体的・対話的で深い学びになるような授業づくり。問いや願いを大切にし、五感を働かせながら追究する授業づくりを支援していきます。3つ目として、社会に開かれた教育課程づくり。学校教育目標の具現に向け、グランドデザインを柱に実践と評価を大切にしながら、各校の教育課程づくりを支援していきますという3つの柱を教育センターとして立てさせていただいてございます。この方向で各校の支援をしてまいりたいと思っております。

こちらのファイルのほう、各学校の研究であったり、あるいは教育課程、授業、実際に取り組んできたものをまとめてもらったものになります。子どもたちが主体的・対話的で深い学びを行うための学校づくりを進めていく上ですごく大事になるのは、校長先生のリーダーシップの下で、一人一人の先生方が主体的に創造性を発揮して学校づくりを進めていくこと

だと思っております。

今日、碓井教育長職務代理者のほうでこのまとめについて取り上げていただきましたので、それぞれの学校のまとめはまたお読みいただければと思いますが、教育センターとしての方向、数年前から何本かのレポートを大体月に1本くらいずつ書いては、校長会、そして先生方のほうに配付をしておりますので、そのことを中心に少しお話をさせていただければと思っております。

私たちの立場としましては、先生方に自信とやる気を持っていただいて、主体的に授業改善、学級づくりに取り組んでいただきたい、そういう願いのもとで書かせていただいております。そのことを市内の先生方に、C4thという全員が見られるものを使って、配信をしてきております。先生方は大変よい実践をしているのですが、どうしても日々の業務に追われてしまっていて、自身の取組のよさや、あるいはそれぞれの学校の子どもたちのよさに気づかないことが結構多いかと思っております。ですので、私たちのほうで日々の実践を整理して、論を立てたり、あるいは焦点化したりして、先生方にお返しして、先生方のよさや子どもたちのよさ、そういうところに気づいていただけないかなということをやっております。また、そのことが先生方の自信にもつながり、先生方への応援、子どもたちへの応援、そしてそれぞれの学校への支援になるかなと思っております。

居場所がある学校づくりでは、去年、丘中と片丘小を事例として取り上げさせていただきました。丘中は、授業づくりと併せて学級集団づくりを研究の2本の柱に立てて、交流ということ 키워ワードにして、授業や校外活動の実践に取り組んでおります。そのことを私たちも紹介させていただきました。

不登校児童生徒への多様な学びづくりということが今急務で、私たちもいろいろ組織も変えながら取り組んでおりますが、それと併せて不登校への対応として、今丘中が進めている一人も置き去りにしない学校づくりということを教育センターとしても応援し、学校づくりのモデルとして丘中の取組を広く市内に広げていきたいと思っております。

片丘小の実践は、小規模校における連合学年を核にした教科担任制の事例をレポートとしてまとめさせていただきました。初めは授業づくりということで、取材をして書き始めたのですが、実際に取材を進める中で、子どもたちと先生方のコミュニケーションが広がって、全校の先生方の児童理解が深まり、その結果として、一人一人の子どもたちが、学校がよりよい場所になっていったという事例でございます。

また、居場所づくりと授業づくりは別かなと思われる方もいると思うのですが、丘中と片丘小の事例から、まさにそれは同時に進むものであるということ、これは以前から言われてはいることなのですが、改めて分かってまいりました。

今年度、教育センターに3人の指導主事が関わることになりました。指導主事はできるだけ学校に行って、授業づくりと学級づくり、特にそこに焦点を当てた支援をしてまいりたいと考えております。

それから、授業づくりでは、まさに授業のいろはでもあるのですが、子どもたちの疑問や興味関心から、狙いを据える授業の事例ですとか、あるいは授業の振り返りを大切にしている取組であるとか、それも一人一人の先生ということでなく、学校体制として取り組んでいる事例のほうを紹介させていただいております。洗馬小、宗賀小、塩尻中などの事例がそれに当たるかなと思っております。また、言語による表現力を高めるですとか、英語での小中連携と

いうのも、これは塩尻市に限りませんが、これから力を入れていきたい部分になります。今年度、その辺を重点にしながら取り組んでまいりたいと思っております。

そして、最後のほうで記載しましたが、私たち 80 時間ほど授業参観をさせていただいて、いろいろ分析的な記録を取らせていただいております。それから、市内の子どもたちから授業アンケートという形で、授業の取組についての様子をデータとして集めておりますので、それらを集計したものも分析して、今年度も市内の小中学校の課題や今後の方向について、いろいろな機会でご意見を伺いたいと考えております。

赤羽教育長 ありがとうございます。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。檜川小中学校の関係につきましては、私、何人かの方から、通いたい希望者はいるのだけれども、事務局からもありましたが、通学方法や転入条件等で難しい場合があるというようなことを聞いています。通学方法について、今春は公共交通機関で通っているお子さんもいるというようなことですが、実態に応じて可能な支援を御検討いただけたら、今後、そんな方向もお考えいただいているようですが、より小規模特認校指定が生きていくのではないかと思いますので、一層よろしくお願ひしたいと思います。

それから、2点目の市の教育センターの関係ですが、まず不登校のお子さん方の支援の充実。不登校等のお子さんは大変増加してきていて、大きな課題だと私は認識していますので、しっかり支援していただくことが大事だと思います。また、教育センターのリソースを大いに生かしていただいて、市内の取組のよさがさらに伸びること、課題解決に向けて着実に進んでいけること等の支援をお願いできればと思いますので、よろしくお願ひいたします。

赤羽教育長 ありがとうございます。関連してございますか。

壘委員 教科担任制のお話がさっき少し出ましたけれど、全国的に見ても、小学3、4年生くらいから教科担任制を入れていくような話になってはいますが、自分は、教科担任制は働き方改革を進めていく中でもすごくいいことなのではないかと思っはいたのですが、実際問題、3年生くらいを対象に教員が変わるといふか、教科担任で変わったことに対する実証といふか、どのように考えているのかというのが分からない部分があつて、3年生くらいに教科担任制を入れることは早くないのかと思つたのですが、塩尻市ではどのような方向で考えているのかということをお聞ひしたいと思つた。

赤羽教育長 村上先生、分かるところであつたらお願ひします。

村上主任学校教育指導員 分かる範囲でお答えさせていただきたいと思つた。塩尻市、特に本年度からは外国語、英語のほうで市費の英語専科を3名にいたしました。県のほうの英語専科も数年前から配置されておりますので、5、6年生については、英語の専科の先生たちが全て教える形を取つております。

それ以外につきましては、市としても市費の講師の配置を進めておりますが、小学校のほうでは、主に算数の少人数のほうでやることが多いです。それから県費のほうからも、専科教員が学校規模、学級数に応じて配置されておりますので音楽の先生あるいは理科の先生、大規模校は家庭科の先生も専科の先生が入つていたりするのですが、それはまさに学校規模によって異なつております。

ですつて、早ければ4年生、3年生くらいから専科もということもありますし、小規模校

の場合にも、1年生から音楽は専科の先生ということもありますが、まだまだ3年生くらいのところの多くが、当然なのですが、全ての教科が教科担任制になっておりません。5、6年生中心に幾つかの教科で教科担任制をとということです。

先ほど御紹介した片丘の事例というのは、5・6年、3・4年、1・2年と先生がそれぞれ連合学年というのをつくりまして、その中で特に5・6年と3・4年の先生が授業を交換する形での教科担任制の導入でした。

なので、いろいろなパターンがあると思いますので、これからいろいろ学校現場のほうで、学校規模もそれぞれ違いますので、実行していただきなごらよりよいものを求めているいたり、子どもの実態も、3年生でやるとどうなのかということもまだしっかりしたデータもありませんので、データも取り評価をしていただくといい段階かなと思っています。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

齋委員 ありがとうございます。

徳武委員 先ほど、子と親の心の支援員のお話があったと思うのですが、私、先月のこちらの会議で、その支援の先生とソーシャルワーカーの先生のことでお話をしたのですが、ちょうど昨日、Home & Schoolのほうから支援員の先生とソーシャルワーカーの先生の御紹介、それから、どんな場所に相談したらいいかというお便りを頂きまして、大変分かりやすく、すごくありがたかったです。

そうしましたら、早速、不登校で悩んでいる保護者の方から今朝連絡いただいて、昨日頂いたお便りはとても分かりやすくよかったですという話でした。これを見れば、どこに連絡したらいいのとか、どんな先生方がいて、誰に相談したらいいかというのが一目瞭然で分かるということですので、すごくよかったです、昨日の今日で早速御連絡いただきました。

それから、西部中学校のほうで旧中間教室の紹介のお便りも頂きまして、今年からこんな活動をしています、先生はいつも在駐していますとか、こんな勉強ができますとか、今年から中間教室という名前は変えまして、「なごみば」「のびるば」ということでやっているようなのですが、すごく分かりやすく、悩んでいる保護者の方がすぐにでも相談できるような体制が取れてきているなということをととても感じまして、とてもよかったですと思ってお話しさせていただきました。ありがとうございます。

赤羽教育長 どこに相談していいか、今まで旗が分からなくて、それがいよいよ具体的に紹介された事例だと私は思います。ありがとうございます。

この件に関してほかにございますか。では、別のことでありましたらお願いいたします。よろしいですか。

八島委員 先ほど交通安全関連で質問すべきでしたが、不足でお願いします。新しくできた野村桔梗ヶ原工業団地の自治区はどこにあたりますが。

上條学校教育課長 今、野村の九里巾の上で行っている造成かと思えますけれども、そこについては野村区になります。

八島委員 横断歩道や街灯が少ないと思いますが、今後の設置予定はありますか。

上條学校教育課長 道路自体は都市計画課で、造成については地元の組合のほうで造成していると承知しておりますが、交差点部分等の防犯、街路灯についてはまた確認しておきたいと思っています。

八島委員 実組織の出来上がりを待つのであれば、時間がかかると思います。できるだけ早めなご検討をよろしくお願いいたします。

赤羽教育長 ありがとうございます。そのほか、委員の皆様からあったらお願いします。

碓井教育長職務代理者 こども家庭センターという看板がこども未来課にかかっていると思いますけれども、新聞でも報道されたのですが、そのことについてお聞きできればと思います。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） こども家庭センターをこの4月1日より設置いたしました。こども家庭センターは、従来の児童福祉の機能と、健康づくり課が所管しております母子保健の機能を一体的に組織として連携し合っ、虐待など深化する諸問題について適切に対処できるよう、ハイリスクアプローチを行うことを目的としています。

塩尻市のこども家庭センターにつきましては、センター長がこども教育部長になります。それぞれ児童福祉機能はこども未来課、母子保健機能は健康づくり課で行っております。毎月定期の子育て支援連絡会ですとかアセスメント会議において、気がかりなお子さん、家庭、特定妊婦等情報共有をさせていただいておりますし、場合によってはケースとして扱っていくというような対応をしております。

看板につきましては、市内2校の高校生の書道部の皆さんに書いていただきまして、こども未来課には横看板、健康づくり課には縦看板をそれぞれ設置させていただきました。

碓井教育長職務代理者 母子保健や児童福祉を一体的にして子どもの育ちに関わっていくと、そんな理解でいいわけでしょうか。

百瀬こども教育部長 補足をさせていただきます。ひとつ、こども家庭センターをつくれれば一番いいのですが、母子保健は保健福祉センターで、児童については文化センターでやっていますけれども、そういう分離型という形であっても一体的に取り組んでいるところがこども家庭センターという形でできる形になっています。やっていることについては、今までも連携はかなり密に取っていたので、特に何が変わるということはないのですが、改めて呼称を公にすることによって、市で一体的に、先ほど課長が説明したように、総体的にいろいろな面からアプローチして、子どもたちの成長を見守るといいますか支援してしていくことをアピールした形にもなっています。特に何を新しくということではないです。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。

赤羽教育長 ほかのことでありましたら、よろしいでしょうか。

八島委員 では、学校運営協議会に参加させていただいた報告をお願いいたします。各委員の皆さんも、それぞれの担当へ出席されました。私は片丘小と吉田小、丘中学校の3校の第1回学校運営協議会に出席をさせていただきました。3校ともアクションプランと年間計画を基に熟議をされました。片丘小学校では、昨年、開校150周年を迎え、記念に校歌を斉唱から合唱に編曲されたため、会議の冒頭で、片丘小学校校歌を全員で合唱されました。委員からは、様々な行事の前に、校歌の合唱をしていきたいと感想がありました。緊張や不安も取れやすく、一体感も生まれ、親しみやすくなり活発にグループワークも行われていました。

続きまして、吉田小学校では、今年度より学校運営協議会の構成が変更になりました。地域教育協議会が学校運営協議会となり、運用をしていく、プロジェクト型のコミュニティ・スクールに変わりました。運用変更に伴い、例年行われていた年度初めからの支援体制は確

保できておりませんが、プロジェクトの基盤づくりを先伸ばしにせず、できる限り早めに計画を立ち直し、支援活動が稼働していき、子どもたちの教育活動に地域の力添えができることを願っております。

丘中学校では、カフェ丘スクールDusk活動について話し合いを行いました。生徒が社会参加をすることで、地域との交流から人間力を高めていくサークル活動を目指していく予定です。

それぞれの学校と地域がつながりあうことで、一人一人が地域の当事者となって、活かし合いながら、地域づくりにつながっていただけるように出来たらよいと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。関連してあればお願いしたいと思います。

壺委員 コミュニティ・スクールのことに関しては後で言おうかと思ったのですが、八島委員からあったのでつけ加えさせていただくと、地域連携活動支援交付金というのがあるのですが、これコミュニティ・スクールに関わる経費を5月末までに学校長が申請するのですが、5月末までに申請するというのは、活動している側からすると、必要なものを先に上げないといけないわけです。だけど、1年間の活動を通して、途中でこれ欲しいというときにはもう申請できない状態なのです。ですので、特に校長先生が代わってしまったりすると、次の年でないとそれがかなわないことが多くて、どうしても後手後手になってしまったりすることがあるのです。

これまで経費で使ったものは、活動報告書が出ていると思うのですが、それも見たことがないので、できれば見させていただいて、何に何を使っているのか、それから何に使ってはいけないのか、この辺をはっきりさせてもらって、コミュニティ・スクールのほうに落とすことが必要ですし、私が会長をやらせてもらったときに、そういう支援金が出るというのを知らなかったの、校長先生から出すということ自体が何かおかしいような気がするのです。コミュニティ・スクールの会長が出すなら分かるのですが、学校長が出すというのはよく分からない仕組みだと思っています。

実は要領とか見させてもらおうと、現場のことを分かっていないような気がするということが多々あり、ルールを変えていただきたい部分があるので、検討して行ってほしいと思います。例えばですけど、学期ごとにとか、少なくとも1学期に申請するとか2学期に申請するとか、その都度適応できるような申請の仕方というのは必要だと思いますし、明確にどうか、ここには使ってもいいけれどここには使ってはいけないというものはっきりさせたほうがいいと思います。ですので、今まで申請して実践した活動内容などを見せてもらったらありがたいと思います。

赤羽教育長 それに関して分かる範囲でお願いします。

佐藤教育企画係長 昨年度の活動報告が各校から上がってきておりますので、そちらを後ほど、委員の皆様に見ていただければと思います。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

壺委員 申請時期に関してはどういうふうにお考えですか。

小松学校教育課児童生徒支援係長 もともと、生きる力を育む交付金というものがあったのですが、その中がいろいろありまして、整理したのが昨年度です。学校運営協議会の活動経費を目的にしたものが欲しいということで新たにつくったのです。

それについては、今までの流れと同じようなスキームでやっているものですから、年度当初に計画を出していただいて、実は計画の変更も可能なので、途中でこれが欲しいと言っていたらいいのですが、大体学校は通年で計画を組んでいて、報酬の支払い先まで決まってしまうので、なかなか自由にはいかなかったと思うのです。なので、もし学校のほうで計画変更がきくようであれば、途中で計画変更を言っていただいても対応はできます。

来年度については、さらに見直しを今検討しているので、ぜひ実績を見ていただいて御提言いただければ、先ほど、学期ごとという話もそうだろうと思いますので、また反映させていきたいと思っています。

赤羽教育長 ありがとうございます。皆様、そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に行きたいと思います。

○報告第1号 主な行事等報告について

赤羽教育長 報告第1号、主な行事等報告についてお願いします。資料1ページ、2ページ、事務局から説明をお願いいたします。

矢澤市民交流センター長（図書館長） それでは、交流文化部の中で一番上にあります図書館の部分、その中に関連のものもございますので、併せて御説明させていただきます。3月9日から3月31日まで、絵本作家岡本雄司さんの絵本原画展を図書館で開催し、多くの皆様に見ていただきました。その原画展に併せまして、3月23日に作者の岡本雄司さんのギャラリートークとでんしゃのおはなし会を行いました。参加いただいた皆様に大変喜んでいただきました。でんしゃのおはなし会につきましては、塩尻駅の駅員さんにも御協力をいただき、電車にまつわる丸バツクイズ等も行い、大変好評でした。私からは以上です。

赤羽教育長 続けてお願いします。

古畑文化財課長 1ページの2段目、3月16日、塩尻短歌館春待ちコンサートは、例年の行事ですが、会場をえんてらすに変更したことにより、これまで短歌館では定員が50名ということで、より広い会場を求めてえんてらすに移したところ、120人の参加をいただいた事が特筆する部分です。私からは以上です。

竹中こども教育部次長（こども未来課長） それでは、2ページのこども教育部行事報告を御覧いただきたいと思っています。3月15日、ひきこもり講演会として、NPO法人子ども・若者サポートはみんぐ講師の高橋泰宏氏をお招きして講演をいただきました。講演では、ひきこもりの経験のある高橋氏御自身の実体験を基に、家族や支援者ができること、行政や支援団体ができることなどのポイントを教えていただきました。参加者からは、まずは子どもの話を最後まで寄り添って聞きたいなど、感想を頂きました。以上です。

赤羽教育長 それでは、委員の皆様から御質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では、次に行きたいと思います。

○報告第2号 5月の行事予定等について

赤羽教育長 報告第2号、5月の行事予定等についてお願いします。資料3ページです。皆さ

ん全員に関わるものは、23日に定例教育委員会と協議会があります。それから、お休みの日ですが、ファミリースポレクフェスティバル、本の寺子屋などの行事がありますので、御都合のつくところは御参加いただければ幸いです。

見ていただきまして、質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、次に進みたいと思います。

○報告第3号 後援・共催について

赤羽教育長 報告第3号、後援・共催についてですが、資料4ページから7ページです。見ていただきまして、何かありましたらお願いいたします。

壺委員 5ページの2番のニューモラル講演会というものを、岡谷モラロジー事務所というところがやる予定になっているのですが、これはどういったものなのか具体的に教えていただければと思います。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） この団体の母体は、公益財団法人モラロジー道徳教育財団という全国的な公益財団法人がございまして、そのもとに、岡谷モラロジー事務所が塩尻市内の個人宅に設置されております。

この団体の目的といたしましては、地域社会における道徳振興活動を通じて、国づくりに寄与するといったことを掲げていまして、道徳教育によって人間力を高めるといったようなことを趣旨に、中央から講師を招いて講演会を開催するという行事についての申請でございまして。

これにつきましては、過去にも申請の実績がございまして、今年度は11月3日に市の東地区センターで開催されます。市の後援依頼も出ておりまして、併せて教育委員会での後援もいたしまして、当日は来賓として市長、教育長も出席という予定になっているものでございます。

赤羽教育長 よろしいですか。

壺委員 大丈夫です。

胡桃交流文化部長 今紹介いただいたそういう内容でございました。

赤羽教育長 続けてお願いします。

碓井教育長職務代理者 7ページの63番、親子 de 隠れ家マルシェ。聞き慣れない名前が開催場所になっているのですけれども、これの内容や場所について教えていただければと思います。

上條学校教育課長 今回の親子 de 隠れ家マルシェにつきましては、今までに申請が上がってきていない新規の案件になります。開催場所になりますけれども、淵庵村という場所になりまして、松本市寿にあります。例えば一番分かりやすい施設で言いますと、ドマノマというイタリアレストラン、その周辺一体のところになっている総合的な宿泊施設であったり、体験施設などが一体となって整備されているところがございまして、そこで開催をしたいと。その淵庵村の中では、例えばレンタルスペースがあったり、トレーラーハウスで宿泊ができたりですとか、多目的ホール、あとドマノマであったり、鍼灸院なども併設されているような施設になってございます。

ここで言う中では、松本、安曇野、塩尻在住の事業主、こちらは親子をベースにしているものですが、そういった方々が地域に出て行って地域の方々をつながりを持って社会

の暮らしを豊かにすることを目的にという形で、親子で出店、参加者も親子を基本とするというような形で、そういった中でも子どもが社会活動の経験を得ることで、親子で楽しいサービスを受けて地域貢献に発展していきたい、そのような趣旨となっております。

碓井教育長職務代理者 ありがとうございます。

赤羽教育長 よろしいですか。そのほかございますでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に進みたいと思います。

○報告第4号 塩尻市人権同和教育集会所運営委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について

○報告第5号 塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処分報告について

○報告第6号 学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について

赤羽教育長 続きまして、報告第4号ですけれども、報告第4号から第6号まで全て専決処分報告ですので、一括議題といたします。資料8から18ページまでになります。それぞれ事務局から説明をお願いいたします。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） 8ページ、9ページ、報告第4号、塩尻市人権同和教育集会所運営委員会委員の委嘱に係る専決処分報告について、社会教育スポーツ課の所管でございます。

趣旨にありますように、条例設置の同委員会の委員につきまして、毎年1年間の任期としておりますところ、今年度の委員の委嘱を教育長専決により行いまして報告するものでございます。

委嘱委員の氏名、所属等、再任、新任の別は記載のとおりでございます。4月1日に専決、同じく4月1日から来年3月31日までの任期ということでございます。

9ページに根拠規則の該当部分を抜粋しておりますので御覧ください。私からは以上です。

古畑文化財課長 続きまして、資料No. 5、10ページ、11ページをお願いいたします。報告第5号、塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱に係る専決処分報告についてでございます。

塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員につきまして、役員の異動により新たな委員を委嘱いたしました。選任委員、退任委員、新規委嘱委員につきましては、2番、3番にあるとおりでございます。

理由は、区長の交代によるものです。委員の内訳は8名で、そのうちの1名が交代ということです。

11ページ任期は令和5年4月1日から令和7年3月31日ですが、今回交代の委員は、残任期間の1年間です。

根拠条例は、7番に抜粋しています。私からは以上です。

赤羽教育長 ありがとうございます。

上條学校教育課長 それでは、報告第6号、学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について説明させていただきます。12ページ、資料No. 6を御覧ください。

学校運営協議会委員推薦書が学校より提出されまして、委員の任命について教育長専決により決定するものであります。

教育長の専決日につきましては、本年4月1日。また、旧委員の任期が本年の3月31日までであることから、今回全委員が任命となります。委員の任期は本年4月1日から令和8年3月31日までとなり、今年度の学校運営協議会委員数は全体で306名でございます。

13ページから18ページまでに任命委員一覧がございますので、併せて御確認をお願いいたします。説明は以上になります。

赤羽教育長 ありがとうございます。委員の皆様から御質問等ございましたらお願いいたします。

齋委員 私、知らなくていけないのですが、8ページの活動内容は具体的にどういったことをされているわけでしょうか。

上條交流文化部次長（社会教育スポーツ課長） この塩尻市人権同和教育集会所につきましては、先ほど申し上げましたように、条例で設置されている市の施設でございます。

同和教育及び地域の教育活動をする場所として設置をされた経過がございまして、地元の皆さんが教育活動、同和教育ですとか人権教育、地域の集まりなどで集会所として使っている施設でございます。

この運営委員会が設置されておりまして、名簿にありますように、部落解放同盟中南信地区協議会塩尻支部の支部長が委員になっています。部落解放同盟の下で、中南信地区及び塩尻支部の活動などにも使われている施設でございます。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

齋委員 はい。

赤羽教育長 そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、ないようですので、報告のとおり御承知おきください。

それでは、次に進みます。

- 報告第7号 令和6年度長野県公立高等学校入学者選抜の結果<非公開>
- 報告第8号 令和5年度中学校卒業生進路状況について<非公開>
- 報告第9号 令和5年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について<非公開>

赤羽教育長 報告第7号、令和6年度長野県公立高等学校入学者選抜の結果についてですが、この件と次の報告8号、9号は個人情報を含むため非公開といたします。委員の皆様、御異議ございませんか。

〔異議なしの声あり〕

<非公開部分削除>

4 閉会

赤羽教育長 それでは、以上をもちまして、4月定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございます。

○ 午後3時04分に閉会する。

以上

令和6年5月23日

署 名

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員 学校教育課
教育企画係長
